

和達嘉樹

〔経歴〕

- S32・3、北海道大学理学部化学科卒業
- S32・4、日本原子力研究所入所
- S32・5、保健物理部
放射性汚染除去に関する業務および研究に従事。
- S44・1、保健物理安全管理部
放射性廃棄物処理に関する業務および技術開発に従事。
- S53・6、環境安全研究部低レベル廃棄物処理処分研究室長
低レベル廃棄物の浅地中処分に関する安全性実証試験および安全評価手法の開発を実施。
- H1・4、環境安全研究部次長
青森県六ヶ所村における低レベル廃棄物浅地中処分の事前安全評価および国が行う安全審査に寄与。
- H3・10、環境安全研究部部长
各研究室が実施する研究の統轄およびそれらの研究に係わる国際協力研究の推進。
- H5・3、停年退職
- H5・6、(財)エネルギー総合工学研究所入所
プロジェクト試験研究部専門役として TRU 廃棄物に関する調査研究を担当。
- H10・12、退職
- H19・8 現在、(社)日本原子力産業協会原子力システム研究懇話会会員

最初に私に与えられた仕事は、放射性汚染除去に関する業務と研究であった。指導してくれる人もなく、目に見えない危険な汚れを除去するという作業が続き、肉体的にも精神的にも大変であった。しかし、序々に汚染除去作業を担当する人が増えて研究が出来るようになり、放射性汚染除去に関して学位（理学博士）を得るに至った。このことが、原研で働く自信の基になった。

1980年代（S55～64）は、我が国が最も活力があった頃で、IAEA や OECD/NEA が開催する放射性廃棄物処分に関する会議にたびたび出席した。その際、日本の意見や提案が重視され、採用されたことが多かった。

原研在職中に実現することを願っていた低レベル廃棄物の浅地中処分が、定年退職の直前（H4・12）に青森県六ヶ所村で実現したことで、まさに「終わりよければすべてよし」となった。

原研一期生として7人が保健物理部に配属され、私と同様に皆さんも予期しなかった状況と仕事で大変だったことを、本稿を書きながらあらためて思った。すでに亡くなった古川さんと赤石さんには、心から冥福をお祈りする。

最後に、国民的愛唱歌「我は海の子」に係わるエピソードを紹介する。

この歌は文部省唱歌として知られているが、作詞者も作曲者も知られていない。しかし、作詞者は、国定教科書の作成に携わっていた祖父（母の父）であることを両親から聞いていた。ちなみに、明治43年に国定教科書が完成し、その歳に生まれた二卵生双生児が母の国子と叔父の定である。

阪神タイガースファンの私は、メロディーは変えずに歌詞のみ変えて、「我は海の子」を六甲おろしに次ぐ応援歌にしようと考えている。

老人バージョン

我は虎の子タイガース

六甲おろしが子守歌

よわい重ねし今もなお

わが懐しき甲子園

オウ オウ オウ オウ 阪神タイガース

フレ フレ フレ フレ

以上